

音楽学部(専門教育科目)カリキュラムマップ
琉球芸能専攻(琉球古典音楽コース)

大学の教育理念		沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追求することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。					
音楽学部の教育理念		大学及び学部の教育理念に基づき、音楽学部では、専門分野における基礎的な知識・技術に加え、大学の学修に必要な基礎的学力と広い視野を備え、将来、伝統芸術の継承発展と新たな芸術創造に寄与できる人材を求めています。					
大学のディプロマ・ポリシー		1-1. 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解している。	1-2. その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。	2. 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。	3. 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。	4. 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探求し、解決する能力を身につけている。	
音楽学部のディプロマ・ポリシー		音楽・芸能の各分野における専門的な知識と実演、創作等の技能を修得していること。			大学の学修で養った汎用的基礎能力を活かし、主体的に研究を継続し、それらを社会に発信できる能力を備えていること。		
年次	区分	授業科目名					
1	必修科目	琉球古典音楽実技Ⅰ～Ⅱ	◎	◎	○		
2		琉球古典音楽実技Ⅲ～Ⅳ	◎	◎	○		
3		琉球古典音楽実技Ⅴ～Ⅵ	◎	◎	○		○
4		琉球古典音楽実技Ⅶ～Ⅷ	◎	◎	◎	◎	◎
3		総合実習Ⅰ～Ⅱ	◎	◎	◎		
4		総合実習Ⅲ～Ⅳ	◎	◎	◎	◎	◎
2		琉球楽器実技Ⅰ～Ⅱ	◎	◎	○		
1		地謡実技Ⅰ～Ⅱ	◎	◎	○		
1～2		日本・東洋音楽史	○	◎	○		
1		琉球芸能史	○	◎	○		
2～4		琉球音楽論A・B	◎	◎	○		
1		詞章研究Ⅰ～Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎
2～4		詞章研究Ⅲ	◎	◎	◎	◎	◎
2～4		琉球語Ⅰ	◎	◎	◎	◎	◎
1～2		ソルフェージュⅠ(琉)	◎	◎	○		
1～2		副科ピアノⅠ(琉)	◎	◎	○		
2		副科声楽Ⅰ(琉)	◎	◎	○		
1～2		西洋音楽理論Ⅰ	◎	◎	○		
2		地謡実技Ⅲ～Ⅳ	◎	◎	◎		
1	関連琉舞組踊実技Ⅰ	○	○	○			
2	関連琉舞組踊実技Ⅱ	○	○	○			
3	琉球楽器実技Ⅲ～Ⅳ	◎	◎	○			
4	琉球楽器実技Ⅴ～Ⅵ	◎	◎	○	○	○	
2～3	和楽器実技Ⅰ～Ⅱ	◎	○	○			
2～4	琉球芸能論A・B	◎	◎				
1	琉球音楽基礎演習Ⅰ～Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	
3～4	音楽創作演習A・B		○	◎			
1	音楽基礎演習Ⅰ～Ⅱ	○	○	○			
2～4	琉球語Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	
3～4	学外研究			○			
1～2	西洋音楽理論Ⅱ	◎	○	○			
1～2	ソルフェージュⅡ(琉)	◎	◎	○	○	○	
1～2	副科ピアノⅡ(琉)	◎	◎	○	○	○	
2	副科声楽Ⅱ(琉)	◎	◎	○	○	○	
3～4	民族音楽学A・B	○	○	◎			
3～4	アジア音楽構造学A・B	◎	◎	○			
2～4	楽器論A・B	○	◎	○			
3～4	楽劇理論A・B	◎	○	○			
2～3	ソルフェージュⅢ～Ⅳ(琉)	◎	◎	○	○	○	
2～3	副科ピアノⅢ～Ⅳ(琉)	◎	◎	○	○	○	
2～3	西洋音楽理論Ⅲ～Ⅳ	○	○	◎			
3	副科声楽Ⅲ～Ⅳ(琉)	◎	◎	○	○	○	
3	指揮法(琉)	○	○	○			
1～2	西洋音楽史概論	◎	◎	○	○	○	
2～4	舞台制作論A	◎	○	◎	◎	◎	
2～4	公共文化政策論	○	◎	○	○	○	
2～4	音楽組織論	◎	◎	◎	◎	◎	
3～4	舞台制作演習Ⅰ～Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	
1～4	音響学	◎	◎	◎	◎	◎	
3～4	副科合唱Ⅰ～Ⅱ	◎	○	○			
2	副科実技Ⅰ～Ⅱ	◎	○	○			
3	副科実技Ⅲ～Ⅳ	◎	○	○			
2～4	身体基礎演習Ⅰ～Ⅱ	○	○	○			
2～4	器楽合奏Ⅰ～Ⅱ	○		○			
1～4	ガムラン演習Ⅰ～Ⅱ	◎	◎				
3～4	音楽企画実習Ⅰ～Ⅱ	◎	○	◎	◎	○	